

2012年度第1回常任理事会：議事録

日 時：2012年4月8日(日) 午後1時00分～午後5時00分

場 所：駒澤大学第1研究館4階文学部会議室

出 席 者：藤田主一理事長，谷口泰富副理事長

浮谷秀一，川本利恵子，齊藤 勇，大坊郁夫，内藤哲雄，深澤伸幸，藤森立男，向井希宏，蓮花一己，濱 保久(第79回大会委員長) (以上，常任理事)

欠 席 者：なし

事 務 局：齋藤雅英(事務局長)，鈴木悠介(幹事)，
本間悠也(幹事) (敬称略)

I. 報告事項

1. 理事長より(藤田理事長)

- ・新体制の発足にあたり，学会発展のため貢献してくださることへのお願いと挨拶が述べられた。また，各委員会報告，審議事項に先立ち，理事長より各委員会委員長等への就任要請があった。新体制のもとでの各委員会委員長等は以下のとおりである。

機関誌編集委員会	深澤伸幸
企画委員会	藤森立男
広報委員会	浮谷秀一
「応用心理士」認定審査委員会	内藤哲雄
国際交流委員会	蓮花一己
若手研究者支援委員会	向井希宏
学会賞選考委員会	川本利恵子
学会活性化委員会	大坊郁夫
倫理委員会	谷口泰富
日本心理学諸学会連合理事	齊藤 勇
心理学検定運営委員	大坊郁夫

2. 各委員会報告

(1) 機関誌編集委員会(深澤委員長)

- ・機関誌3号化についての説明がなされた。
- ・機関誌の「その他」区分の名称をどうするかについて今後検討を重ねる。
- ・次年度から電子査読化への切り替えを視野に整備を進める予定である。
- ・第37巻第2号については4月中旬に発送予定である。

(2) 企画委員会(藤森委員長)

- ・大会中の研修会，本年度の公開シンポジウムについて準備を進める予定である。

(3) 広報委員会(浮谷委員長)

- ・『応用心理学のクロスロード』の年1号化について説明があった。
- ・HPのリニューアルについて，駒澤大学の軽部幸浩先生へ感謝が述べられた。
- ・メールニュースを配信されない会員へ紙媒体を郵送するかについて検討している。
- ・「応用心理士」資格取得者との連携を進めるうえで，認定審査委員会と連携していく。

(4) 「応用心理士」認定審査委員会(内藤委員長)

- ・「応用心理士会」を設立するかについて今後検討していく。
- ・「申請の手引き」に修正を加えるための準備を始める。発行は10月から11月ころを予定している。
- ・認定審査委員会(受付)と応用心理士事務局(事務)とは一緒に行われることが望ましいので，今後検討していく。

(5) 国際交流委員会(蓮花委員長)

- ・現在，英文特集号の発行作業を進めている。

(6) 若手研究者支援委員会(向井委員長)

- ・大会参加費の援助を含め，若手研究者がさらに活躍できる支援を検討していく。

(7) 学会賞選考委員会(川本委員長)

- ・「優秀大会発表賞」の実践部門をどうするかについて今後検討を重ねていく。

(8) 選挙管理委員会(浮谷委員長)

- ・役員選挙が滞りなく行われた。

(9) 学会活性化委員会(大坊委員長)

- ・「理事長諮問機関」から独立して学会活性化委員会が発足した。
- ・具体的なアイディアを企画委員会と連携して進め，4～5名の委員で活動する予定である。

3. 2012年度第79回大会について(濱大会委員長)

- ・現在，準備を進めている段階である。
- ・若手支援として，本大会の参加費を2,000円にした。
- ・申し込みが5月末までとなっているので，周知

をお願いしたい。

4. 日本心理学諸学会連合（心理学検定を含む）について（谷口担当理事，大坊担当委員）

- ・「心理師（仮称）」の国家資格制度を創設するための「院内集会」に，藤田副理事長と谷口常任理事（当時）が参加をした。この集会には関係閣僚ほか約150名の衆参国會議員と三団体（臨床心理職国家資格推進連絡協議会，医療心理師国家資格制度推進協議会，日本心理学諸学会連合）から約450名が参加した。
- ・本年度の心理学検定は8月26日に行われる。
- ・本年度から「特1級」が新設された。特1級は，10領域すべてに合格した場合に与えられる。1級および2級の取得者は，未合格の領域を合格することにより与えられる。
- ・心理学検定問題集にミスがあるため，受検者から苦情が寄せられている。今後，差し替えが行われる見通しである。

5. その他

- ・特になし。

II. 審議事項

1. 名誉会員推戴について

- ・下記の2名が名誉会員として推戴され全員一致で承認された。

荻野七重，玉井 寛

2. 新入会審査および会員異動について

- ・下記の6名が新入会員として承認された。

中林亜衣，山口 司，吉永真大，松尾 睦，鈴木和也，小山秀之

3. 第81回大会（2014年）について

- ・中京大学での開催について，向井先生から内諾をいただいた。

4. 会則について

- ・「第8条第3項」「第12条第3項」について審議され，常任理事会としてはこの条項を修正ないし削除する方向で一致した。大会時の総会の承認をもって正式決定される見通しである。

※次回常任理事会は6月24日（日）14時から駒澤大学で開催する予定である。

2012年度第2回常任理事会：議事録

日 時：2012年6月24日（日）午後2時00分～午後6時00分

場 所：駒澤大学第1研究館4階文学部会議室

出席者：藤田主一理事長，谷口泰富副理事長
浮谷秀一，川本利恵子，齊藤 勇，内藤哲雄，深澤伸幸，藤森立男，向井希宏，蓮花一己，濱 保久（第79回大会委員長）（以上，常任理事）

欠席者：大坊郁夫（委任状）

事務局：齋藤雅英（事務局長），宇部弘子（幹事），鈴木悠介（幹事），本間悠也（幹事）

（敬称略）

I. 報告事項

1. 理事長より（藤田理事長）

- ・2012年度第79回大会の準備をされている濱大会委員長に感謝の言葉が述べられた。

2. 各委員会報告

(1) 機関誌編集委員会（深澤委員長）

- ・第38巻第1号については7月末刊行予定である。
- ・第1号は「特集号」として，①京都大学で行われた第77回大会，②公開シンポジウム「“まさか！”の応用心理学」を編集している。
- ・査読部門の責任者が以下のとおり決定した。

編集委員長 ○深澤伸幸

第1部門（原理・認知・感情）：

○星 薫・桐生正幸

第2部門（教育・発達・人格）：

○伊坂裕子・細江達郎

第3部門（臨床・福祉・相談）：

○沢宮容子・北川公路

第4部門（健康・スポーツ・看護・医療）：

○川本利恵子・森田敏子

第5部門（犯罪・社会・文化）：

○小嶋正敏・大坊郁夫

第6部門（産業・交通・災害）：

○白井伸之介・角山 剛

顧問（機関誌編集委員経験者）：

藤田主一・谷口泰富

※○は正責任者を示す。

(2) 企画委員会（藤森委員長）

- ・現在，公開シンポジウムの開催に向けて内容，

開催場所を含めて検討中である。

(3) 広報委員会（浮谷委員長）

- ・メールニュースにて日本応用心理学会の活動を幅広く広報していく予定である。

- ・新理事長と名誉会員による座談会が行われた。

(4) 「応用心理士」認定審査委員会（内藤委員長）

- ・応用心理士の資格に専門性を書き加えるかについて検討する予定である。

(5) 国際交流委員会（蓮花委員長）

- ・英文特集号のネイティブチェックを行っている段階である。

- ・2014年度国際応用心理学会に向け、日本応用心理学会としての参加のあり方を検討していく予定である。

(6) 若手研究者支援委員会（向井委員長）

- ・委員のメンバーが決定され次第、学会としての支援のあり方を検討する予定である。

(7) 学会賞選考委員会（川本委員長）

- ・学会賞の実践活動部門の内容等について検討する予定である。

3. 2012年度第79回大会について（濱大会委員長）

- ・現在、準備を進めている段階である。

4. 2013年度第80回大会について（藤田理事長）

- ・他学会の日程を考慮し2013年9月14-15日に日本体育大学世田谷キャンパスにて行う予定である。

5. 日本心理学諸学会連合（心理学検定を含む）について（齊藤担当理事）

- ・日心連での会議の内容、ならびに心理師の国資格についての説明がなされた。

- ・心理学検定については順調に準備が進められている。

6. 名誉会員推戴の結果について（齋藤事務局長）

荻野七重、玉井 寛の両氏から、名誉会員を受諾する旨の連絡があった。

7. 投稿論文審査について（藤田理事長）

- ・投稿論文の再審査について、現時点までの経過とその後の説明があった。

II. 審議事項

1. 委員会に関する件

- ・各委員会委員(案)が提案され、審議の結果承認された。

2. 2011年度決算に関する件

- ・現時点での決算(案)が報告された。8月の常任理事会に最終報告するので、その結果を審議していただく予定である。

3. 2012年度予算に関する件

- ・2011年度決算を受けて決定されることになる。

4. 機関誌編集委員会に関する件

- ・次年度から電子査読システムへ移行していくように検討中である。内容を精査して総会で説明できるように進める予定である。

5. 新入会審査規程に関する件

- ・日本応用心理学会入会申込書が改変された。

6. 新入会審査および会員異動に関する件

- ・新入会者は以下のとおりである。

岡部康成、松尾睦、小山秀之、山田 忍、宮越美幸、小幡有希、長島輝子、今田純雄、森下葉子、尾形和男、福田佳織、加藤美奈子、千葉桂子、久保山初彦、宮地清和、深見将志、佐藤洋子、金谷掌子、日高美咲、中川 拓、永井哲明、三戸部純子、泉 賢司、森本渉香、高倉 巧、山口京子、藤里朋泰、宮川裕基、吉岡慎太郎、辻 秀至、岡本吉生、幸田晴海、瀧内弘江、阿児 馨、栗 延孟、森崎順子、関河千佳、新津律子、矢辺法子、三木博文、金 文権、奥居みどり、西館裕子、中島安紀子、樋口花美、濱口あゆ美、井上恵理、福場久美子、坂西友秀、藤本太陽、柴山直人、深山いずみ、今井 章（以上53名）

- ・退会者は以下のとおりである。

小林成光（ご逝去）、西川隆蔵、毛利ひろみ、林 敬子、梅岡直子、久保田由紀、鳴原佳織、緒方康介、嶋田佳織、丸山千歌、小澤伊久美、木村 裕（以上12名）

※次回の常任理事会は8月12日(日) 14時から日本体育大学で開催する予定である。

2012年度第3回常任理事会：議事録

日 時：2112年8月12日(日) 14時00分～18時05分

場 所：日本体育大学中会議室

出席者：藤田主一理事長、谷口泰富副理事長
浮谷秀一、川本理恵子、深澤伸幸、藤森

立男, 向井希宏, 濱保 久 (第79回大会委員長)

欠席者: 齊藤 勇 (委任状), 大坊郁夫 (委任状),
内藤哲雄 (委任状), 蓮花一己 (委任状)
事務局: 齋藤雅英 (事務局長), 宇部弘子 (幹事),
本間悠也 (幹事) (敬称略)

I. 報告事項

1. 理事長より (藤田理事長)

- ・出席された常任理事の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

2. 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会 (深澤委員長)

- ・編集委員会を6月24日に開催した。第38巻第1号はすでに本印刷に取り掛かかっているのですが、8月末から9月初旬に配布を完了したい。第38巻第2号は11月に配布を予定している。
- ・査読メンバーの交代により、3カ月間システムが停止した。現在までに7本の投稿があり、7月初旬に査読を開始した。これについて、投稿者からの了解を得ている。
- ・今後、論文の投稿先を東京富士大学から国際文献社へ変更するため、『応用心理学研究』第38巻第1号およびHPへ投稿先の変更通知を掲載する予定である。
- ・編集委員へPDFで審査手続きについての詳細を通知した。また日本心理学会と同等のレベルで査読するように依頼した。
- ・英文特集号の発行時期は現時点では未定だが、第38巻の「特集号」として別冊扱いとする。

2) 企画委員会 (藤森委員長)

- ・公開シンポジウムの内容を検討した。テーマは「試合に勝つメンタルコントロール」(案)ということで進めているが、人選は検討中である。日程は12月8日(土)または9日(日)、会場は日本体育大学、場所は記念講堂を希望している。

3) 広報委員会 (浮谷委員長)

- ・7月22日に『応用心理学のクロスロード』の編集のため福村出版を交えて打ち合わせを行った。今回は「座談会」を含めるためページ数が多めになる。発行は9月の第79回大会の概要を含めるので、12月を予定している。「メールニュース」の配信内容を今後の検討事項とした

い。

4) 「応用心理士」認定審査委員会 (浮谷副委員長)

- ・2012年度の申請者は3名であったが、3名全員が合格した。認定料が振り込まれ次第、認定証を交付する予定である。
- ・応用心理士の冊子を変更 (内藤先生が担当されている) し、会員に配布するかどうか検討中である。

5) 国際交流委員会 (理事長)

- ・英文特集号の進捗状況を確認中である。

6) 若手研究者支援委員会 (向井委員長)

- ・大会参加費の補助が今までの委員会業務であったが、今大会から事務レベルで行うことになったため、新規企画を検討中である。

7) 学会賞選考委員会 (川本委員長)

- ・学会賞 (論文部門) 2件が決定し、受賞者に連絡済みである。学会賞 (実践活動部門) については選考のあり方そのものを考え直すため、選考規程を変更する。
- ・第79回大会の当日、優秀大会発表賞を選考する。

8) 学会活性化委員会 (理事長)

- ・委員会報告として、次回より組み入れていく。

3. 日本心理学諸学会連合について (理事長)

- ・次回理事会は12月23日(日)の予定である。
- ・「心理学検定」が8月26日(日)に実施される (受検者2,989名)。次年度の受検者の目標は3,000名である。

4. 2012年度第79回大会について (濱大会委員長)

- ・プログラムは数日以内に論文集とともに配布予定である。変更点は、仮設の携帯番号を入れたこと、理事会の開始時間が14時から15時に変更になったことである。
- ・過去の大会に比べて大会参加者数は変わらないが、発表数が減少している。懇親会の予約は増加しているが、当日対応は25名が限度である。研修会参加者は19名の増加である。学会から名誉会員の大会参加費、懇親会費の補助はない。
- ・大会会計が黒字を計上した場合、学生協力者への謝金、参加者への還元、大学への返金、学会への返金の順を予定している。
- ・常任理事会の出席および事務担当の人数も参加

者に含める。理事会および理事懇親会（¥2,500）の参加についても確認が必要。

- ・総会時の軽食の量について。総会時の昼食は多めの用意が必要。
- ・研修会講師謝金は3万円とする。来年度から2万円に変更する。
- ・懇親会時に第80回大会のPRを行うため、会場の機器について確認された。

5. その他（理事長）

- ・特になし。

II. 審議事項

1. 学会賞選考について

- ・本学会「学会賞規程」「学会賞選考規程細則」の変更(案)が示され審議された。
- ・学会賞を「論文賞」と「奨励賞」の2種類とし、「論文賞」は『応用心理学研究』に掲載された「原著論文」を対象とし、それ以外の論文等を「奨励賞」とする。両賞とも2件以内とする。

2. 2011年度決算について

機関誌関係で決算額が完了していない部分がある。支払が終了し決算が確定後に監査を受ける予定。

3. 2012年度予算について

- ・「英文特集号」の作成のため、取崩金で収入に100万円を計上する。
- ・「学会活性化委員会」の活動費として5万円を

計上する。

- ・「応用心理士認定委員会」活動費として15万円を計上する。
- ・「応用心理士」の冊子印刷関係予算60万円については計上しない。申請内容などをPDF化してホームページに掲載する。
- ・機関誌電子投稿システムの経費について、今年度は20万円で実行できるかどうかを確認する。シンポジウム・講演費謝金を20万円、企画委員会活動費を20万とする。

4. 新入会員審査および会員移動に関する件

- ・今年度5名の新入会者の申し込みがあり、すべてが承認された。新入会者は以下のとおりである（敬称略）。

稲葉 緑，阿南あゆみ，杉嶋洋子，大原貴弘，中島美奈子

- ・退会者は以下のとおりである（敬称略）。菊池哲彦（ご逝去）

5. 投稿論文の件

- ・大会時の会員総会のとき、審議事項の前に「投稿論文に関する特別委員会報告」として理事長から報告する。
- ・理事会においても報告・説明する。

※次回の常任理事会は、第79回大会の9月21日（金）午前11時45分から開催する予定である。

日本応用心理学会 2011 年度決算書

(2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日)

収 入			支 出		
項 目	決算額	予算額	項 目	決算額	予算額
会費	5,955,000	6,210,000	第 78 回大会補助費	700,000	700,000
過年度分* (58 名)	348,000	600,000	学会賞	0	0
*学生会員, 賛助会員 1 名を含む			心理学諸学会連合会費	60,000	60,000
本年度分** (936 名)	5,607,000	5,610,000	シンポジウム・講演費謝金	84,965	200,000
**学生会員 4 名含む			研修会講師謝金	60,000	60,000
賛助会費 (過年度分を含む)	30,000	30,000	国際交流費	0	100,000
「応用心理士」関係	190,000	400,000	英文特集号関係諸費	0	0
審査料	40,000	100,000	「応用心理士」関係経費	28,040	50,000
認定料	150,000	300,000	委員会活動費	539,622	950,000
機関誌売り上げ (定期購読・バックナンバー)	465,560	300,000	機関誌編集委員会	115,160	300,000
雑収入 (クロスロード広告料, 利子)	228,971	50,000	企画委員会	245,359	300,000
前年度繰越金	1,184,578	1,184,578	広報委員会	85,749	150,000
東日本大震災助成活動のため の募金	75,000	—	国際交流委員会	70,080	50,000
特別企画積立金取崩	500,000	500,000	若手研究者支援委員会	0	50,000
			学会賞選考委員会	26,274	50,000
			倫理委員会	0	50,000
			印刷費	2,204,680	2,500,000
			機関誌	1,141,353	1,500,000
			広報関係	900,000	900,000
			その他	163,327	100,000
			通信費	611,273	550,000
			機関誌郵送費	164,095	150,000
			広報関係郵送費	247,408	250,000
			その他	199,770	150,000
			常任理事交通費	896,660	900,000
			事務局運営費	200,795	200,000
			事務局委託費	724,291	800,000
			英文特集号積立金	500,000	500,000
			選挙関連費用	548,378	500,000
			特別企画積立金	0	0
			東日本大震災助成金	350,000	—
			予備費 (名簿未払い分)	97,332	604,578
			次年度繰越金	1,023,073	—
合 計	8,629,109	8,674,578	合 計	8,629,109	8,674,578

*HP 製作費 (58,932 円), 学会企画書籍費 (38,400 円)

《別途会計》

1. 名簿作成積立金

2010 年度繰越金	3,000,000
2011 年度取崩 (清算)	— 500,000
	2,500,000

2. 若手育成基金

2010 年度繰越金	1,733,506
第 78 回大会より寄付金	535,486
2011 年度支援金	— 113,000
	2,155,992

3. 英文特集号作成積立金

2011 年度積立金	500,000
	500,000

以上の通り相違ありません。

平成 24 年 9 月 13 日

平成 24 年 9 月 14 日

監事 高橋 良博 ㊞

監事 手島 茂樹 ㊞

日本応用心理学会 2012 年度予算案

(2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日)

収 入				支 出		
項 目	予算額		前年度決算額	項 目	予算額	前年度決算額
会費	6,060,000		5,955,000	第 79 回大会補助費	700,000	700,000
過年度分	480,000	80 名	348,000	学会賞	60,000	0
本年度分	5,580,000	930 名	5,607,000	心理学諸学会連合会費	60,000	60,000
				シンポジウム・講演費謝金	200,000	84,965
賛助会費	30,000		30,000	研修会講師謝金	60,000	60,000
				英文特集号関係諸費	1,000,000	0
「応用心理士」関係	600,000		190,000	「応用心理士」関係経費	—	28,040
審査料	150,000		40,000			
認定料	450,000		150,000	委員会活動費	950,000	539,622
その他	0		0			
				機関誌編集委員会	200,000	115,160
機関誌売り上げ	450,000		465,560	企画委員会	200,000	245,359
雑収入	100,000		228,971	広報委員会	100,000	82,749
				「応用心理士」認定審査委員会	150,000	—
前年度繰越金	1,023,073		1,184,578	国際交流委員会	100,000	70,080
				若手研究者支援委員会	50,000	0
東日本大震災募金額	—		75,000	学会賞選考委員会	50,000	26,274
				学会活性化委員会	50,000	0
特別企画積立金取崩金	0		500,000	倫理委員会	50,000	0
				印刷費	2,650,000	2,204,680
英文特集号作成積立金取崩金	1,000,000		—	機関誌	2,000,000	1,141,353
				広報関係	450,000	900,000
				その他	200,000	163,327
				通信費	630,000	611,273
				機関誌郵送費	300,000	164,095
				広報関係郵送費	130,000	247,408
				その他	200,000	199,770
				常任理事交通費	900,000	896,660
				事務局運営費	200,000	200,795
				事務局委託費	700,000	724,291
				英文特集号積立金	500,000	500,000
				選挙関連費用	—	548,378
				特別企画積立金	0	0
				機関誌電子投稿システム費	200,000	—
				東日本大震災助成金	—	350,000
				予備費	453,073	97,332
				次年度繰越金	—	1,023,073
小 計	9,263,073		8,629,109	小 計	9,263,073	8,629,109

《別途会計》

1. 特別企画積立金

2011 年度繰越金	2,500,000
2012 年度取崩金	0
	2,500,000

2. 若手育成基金

2010 年度繰越金	2,155,992
2011 年度支援金	—114,000
	2,041,992

3. 英文特集号作成積立金

2011 年度繰越金	500,000
2012 年度積立金	500,000
2011 年度取崩金	—1,000,000
	0

日本応用心理学会第 78 回大会決算報告書

収入					支出	
摘要				金額	摘要	金額
大会参加費 (内訳)	正会員	予約	単価	人数	学会事務委託費	1,699,880
	正会員	当日	5,000	158	(内訳) 業務委託費	
	院生	予約	6,000	36	システム関連費	
	院生	当日	2,000	42	大会論文集印刷費	
	非会員	予約	3,000	6	大会プログラム印刷費	190,000
	非会員	当日	6,000	24	講師謝礼	
	非会員	当日	7,000	27	学生協力謝礼	
	非会員 (学生)	予約	3,000	2	大会事務局事務員謝礼	
	非会員 (学生)	当日	3,500	9	大会委員会運営費	280,000
					理事会費	
発表費 (内訳)	正会員・名誉		5,000	137	懇親会費	510,500
	院生		3,000	24	総会費 (弁当代)	
	非会員		10,000	25	昼食代 (2 日目)	
	非会員学生		8,000	1	パネルリース費	
自主ワークショップ (内訳)	正会員		5,000	7	消耗品費	100,029
	院生		3,000	2	大会当日移動費	
論文集代 (内訳)	予約		5,000	26	郵送料・手数料	3,275
	当日		6,000	22	寄付 (学会・若手研究者支援)	
懇親会費 (内訳)	正会員 (予約)		7,000	51		535,486
	正会員 (当日)		8,000	22		
	院生 (予約)		3,000	12		
	院生 (当日)		4,000	14		
	同伴者		5,000	4		
研修会費 (内訳)	正会員 (予約)		500	33		16,500
	正会員 (当日)		1,000	4		
	非会員		1,500	0		
弁当代 (2 日目: 個人購入分)			1,000	6		6,000
広告費						
若手研究者支援			3,000	10		
補助費						24,000
優秀大会発表賞						
懇親会補助費						
大会補助費						700,000
理事懇親会補助						
寄付						
合計				4,626,000	合計	4,626,000

以上の通り相違ありません。

平成 24 年 11 月 1 日

監査 内藤哲雄 ㊞